

市民・企業・行政のパートナーシップによる **既存樹林を活かしたマンション開発** ～保全された緑を核に広がる新しいコミュニティ～

地球環境パートナーシッププラザ(GEIC)では、「持続可能な地域づくり」事業として、事例について学んだり、情報交換したりすることを目的に「環境まちづくりフォーラム」を開催しています。

第5回となる今回ご紹介するのは、埼玉県志木市の事例です。慶應義塾志木高等学校の寮跡地に建設されたマンション『志木ガーデンヒルズ』には、かつての武蔵野雑木林の面影を残す緑地が今もなお生き続けています。また、その緑地を通じて新たなコミュニティが広がりつつあります。そこには「この緑を守り、育て、伝えていきたい」という市民の想いと、市民・NPO、行政、事業者の三者協働のドラマがありました。

マンション開発のもとでも既存樹林を残すことができる…当時の開発担当者や行政担当者をはじめとする様々な立場の方々からお話を伺い、多主体間の連携による自然保護やコミュニティ形成について考える場にしたいと思います。

○日 時：2008年 **11月15日(土) 13:00～17:45**

(12:45 受付開始・18:30～交流会)

○場 所：**志木ガーデンヒルズ 集会室**

埼玉県志木市本町（裏面地図参照）

（東武東上線 志木駅 徒歩10分）

○対 象：企業（不動産・住宅関連、CSRに関心をお持ちの方）、研究者の方、NPO（緑地保全・コミュニティ形成・まちづくり等分野の方）、行政の方、近隣・マンションにお住まいの方など

○定 員：50名

○参加費：無料（懇親会は別途）

○主 催：地球環境パートナーシッププラザ (GEIC)

○協 力：グループぽんぽこ

はじめは一通の手紙からでした。寮跡地のマンション計画を知った近隣住民が 2002 年に「慶応高校の緑に想いを寄せる会」を結成し、10,731 通の署名を集めて市長に提出。その後、市民・事業者・行政による「三者協議」や「緑のワークショップ」が何度も何度も開かれました。市民の想いを、行政・事業者が正面から受け止め、紆余曲折を経ながら 2005 年、市民が保全を望んだ緑地の6割が残ったマンションになりました。このセミナーでは、ストーリーの全てを関係者の皆さんより伺います。



現地見学 13:00～

植栽設計者の山本氏より、設計にあたっての配慮事項など含め、現地をご案内いただきます。

セミナー 14:30～17:45

◇全体経緯説明：(有)景域プランニング・伊東範芳氏

◇ミニプレゼンテーション：

三井不動産（株）小田祐氏 〈開発会社としての関わり〉

志木市都市整備部都市整備課公園緑地グループ主査（当時）・細田雄二氏〈行政としての関わり〉

（株）愛植物設計事務所 山本紀久氏 〈植栽設計者の立場〉

地元住民・NPO の方 〈以前から地域に住む住民の想い〉

マンション住民の方 〈マンション購入者の立場より〉

グループぼんぼこ・寺田明子氏 〈新旧住民をつなぐ、現在の取り組み〉

◇意見交換

懇親会 18:30～

◇参加者間のコミュニケーションを目的としています（要参加費）



【会場案内】

「志木ガーデンヒルズ」エントランス棟入口前
(志木ガーデンヒルズ・ネームプレート付近)

12:45 集合

東武東上線 志木駅（池袋より準急で 23 分）東口より慶應志木高校正門方面に向かい、慶應高校の壁沿いに県道 36 号線（慶応通り）を北へ。「慶応志木高前」交差点を右折。

※マンション集会室が会場です。鍵がないと入れませんので、集合時間厳守にてお願いいたします。

※マンションのご厚意により、会場をお借りしています。マナーよいご利用をお願いいたします。

【お申込・お問合せ】地球環境パートナーシッププラザ(GEIC) 担当：伊藤

東京都渋谷区神宮前 5 丁目 53-70 国連大学 1F URL：<http://www.geic.or.jp/geic>

E-mail：chiiki08@geic.or.jp FAX：03-3407-8164 TEL：03-3407-8107

お名前、ご連絡先、ご所属、ひとことをご記入いただき、電子メール、またはファックスにてお申し込みください。